

## ■ 春歌秋冬 らものらくご ■

プレスリリース 2025.11.14 発行

展覧会タイトル: 春歌秋冬 らものらくご

会期: 2025 年 12 月 6 日(土)~2026 年 2 月1日(日)

開場時間: 10:00 - 17:00(土・日・祝日は 18:00 まで)

会期中の休日: 毎週火曜日、12 月 31日(水)

料金: 入場無料

会場: 尼崎開明 rooms

〒660-0862 兵庫県尼崎市開明町 2-1-1 尼崎市開明庁舎 1 階

交通: 阪神尼崎駅南口より徒歩5分

駐車場: 有(駐車台数僅少のため、公共交通機関または自転車でご来所ください)

会場連絡先: 06-6409-4946(あまがさき観光局)

主催: 一般社団法人あまがさき観光局

協力: 中島らも事務所

制作: 合同会社 eitoeiko

【展覧会概要】 中島らもが取り組んだ新作落語の自筆原稿を紹介

あまがさき観光局は、令和 7 年 12 月 6 日(土)から令和 8 年 2 月 1 日(日)まで、尼崎市開明庁舎1階の開明 rooms で「春歌秋冬 らものらくご」を開催します。劇作家、ミュージシャン、放送作家、ラジオパーソナリティ、小説家など、多方面に活躍した中島らもは、1952 年、兵庫県尼崎市に生まれました。本展では中島らもが精力的に取り組んだ新作落語の自筆原稿と関連資料を、落語の盛んな町、尼崎の変遷とともに紹介します。

【出品作品】 自筆原稿を展示

・『中島らものぶるぶる・びいぶる』

1988 年白水社刊。1995 年集英社文庫化。落語、コント、小説をまとめた作品集。落語は桂吉朝のためにらもが初めて書いた新作落語台本『曼荼羅散華』と、コント台本を落語に仕立て直し、松尾貴史に書いた『神も仏もアルマジロ』を収録。

・『らも咄』『牛乳時代』

1991 年角川書店刊。「野性時代」1990 年 6 月号から 1991 年 7 月号に掲載された新作落語に書下ろし作品『おかと・かん平』を加えた『らも咄』と、同 1991 年 8 月号から 1992 年 12 月号に掲載された新作落語をまとめた『らも咄 2』(1993 年角川書店刊)。それぞれ 1994 年、1996 年に角川書店より文庫化。文庫化の際に『らも咄 2』は『牛乳時代』に改題されました。

・『寝ずの番』

1998 年講談社刊。2001 年講談社文庫化。2005 年マキノ雅彦(津川雅彦)監督により映画化。2006 年角川書店再文庫化。様々な媒体に掲載された短編 9 篇を収録。表題の『寝ずの番』は 3 部構成で、『寝ずの番』が 1996 年、『寝ずの番 II』が 1997 年に「小説現代」(講談社刊)に、『春歌秋冬』(後に『寝ずの番 III』に改題)は同年 12 月に「小説新潮」に初掲載されました。本展では初出時の装画とともに展示します。

【中島らも略歴】

本名・中島裕之(なかじま・ゆうし)。1952 年尼崎市生まれ。灘中学校、灘高校卒業後、1972 年大阪芸術大学に入学。在学中の 1975 年に長谷部美代子と結婚する。大学卒業後印刷会社勤務ののち、広告代理店に入社、中島らもを名乗る。1983 年 TCC 賞準

新人賞(『啓蒙かまぼこ新聞』)、1984年OCC賞(同)、神戸新聞広告賞(カネテツデリカフーズ「父の日」)。「明るい悩み相談室」朝日新聞大阪本社日曜版で連載開始。1986年笑殺劇団リリパット・アーミー旗揚げ。1992年第13回吉川英治文学新人賞、第10回日本冒険小説協会大賞特別大賞(『今夜、すべてのパーで』)、1994年第47回日本推理作家協会賞(長編部門『ガダラの豚』)。2004年死去。

#### 【お問い合わせ】

展示内容についてのお問い合わせ ei@eitoeiko.com 担当:癸生川(eitoeiko)

アクセス、開館時間などについてはあまがさき観光局(06-6409-4946)にお問い合わせください。

#### 【本展の見どころ】

- ・中島らもの自筆原稿を展示します。春歌秋冬では、初出時の装画もともに展示します。
- ・落語が盛んな町、尼崎のさまざまな活動を紹介します。
- ・原稿用紙を前に、作者と一対一で会話しているような雰囲気楽しんでください。
- ・「らも」に親しんだ方には懐かしさを、これから知る方には読むキッカケとなることを願います。

#### 【関連事業】

①展覧会関連トーク 松尾貴史さんを迎えて 12月7日(日) 午後2時から午後3時

会場 開明庁舎 2階 AMA-NEST 入場料1,000円 予約のみ先着定員80名様

申込方法 以下サイトから先着80名申込可能。11月16日(日曜日)午前10時受付開始。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02qmk9rez7t41.html>

本展に出品する「神も仏もアルマジロ」は、ラジオ用のコント台本をもとに、松尾貴史さんのために落語台本として書かれました。松尾貴史さんをお迎えして、当時のいきさつなどを本展企画者の癸生川栄がお聞きます。

②尼崎開明庁舎内の尼子騒兵衛漫画ギャラリーでは、同時期に『らくご長屋』と『落第忍者乱太郎』原画展 尼子騒兵衛 ギャグと古典落語展を開催します。別途ご案内をご参照ください。

③尼崎市立中央図書館では、令和7年12月27日(土曜日)まで、ミニ展示「桂米朝と尼崎」を開催しています。尼崎における落語関連の資料が展示されています。また、令和8年2月1日(日曜日)まで、中島らも関連図書コーナーを設置します。らもの作品が気になったら、こちらの図書館へお立ち寄りください。

尼崎市立中央図書館 〒660-0826 兵庫県尼崎市北城内 27 電話:06-6481-5244

※開館時間や休館日などのスケジュールは図書館日程に準じます。

#### 【参考画像】



左 『寝ずの番』より「春歌秋冬」(後に「寝ずの番 III」に改題) 自筆原稿 1997年



右 『らも咄』装画担当の山藤章二氏に宛てた謝罪文 1992年頃